

## 投稿規定・執筆要綱

執筆に当たっては、下記の執筆要項を熟読し、各項目を厳守すること。執筆要項に従っていない原稿は受理できない場合がある。

### 1. 投稿および査読について

#### 1-1. 投稿資格

- 1) 総合人間学会会員であること。
- 2) 大会等において過去に研究発表をしていること。あるいは、会員としてすでに2年間経過していることが望ましい。
- 3) 投稿時点で投稿年度までの学会費を完納していること。
- 4) すでに投稿論文が掲載された者でも、次年度も続けて投稿することができる。すなわち、複数年度にわたり、連続して投稿し、連続して掲載されることも可能である。

#### 1-2. 投稿原稿

- 1) 本学会の趣旨にそうものであること（学会会則参照）。
- 2) 内容は、未公刊の論文、報告、研究ノート、エッセイであり、大会等での研究発表を踏まえたものであることが望ましい。
  - (a)「論文」とは、独創性のある学術的な研究成果を展開したもの。
  - (b)「報告」とは、調査によって得られた資料や聴取記録などに関するユニークなもの。
  - (c)「研究ノート」とは、研究を発展・活性化させる知見、問題提起、展望、資料紹介など。
  - (d)「エッセイ」とは、必ずしも学術研究でなくとも、独創性に富み、高く評価されるもの。

#### 1-3. 文字数

文字数は論文、報告、研究ノートは16,000文字以内、エッセイは6,000文字以内とする。ただし図表は1点につき400文字としてカウントする。

#### 1-4. 投稿方法

- (a)原稿は指定された期日までに、下記の編集事務局宛に電子メールにて送付する（電子メールが使えない場合は、CD-ROM等の電子媒体に記録の上、郵送することも可とする）。なお、上記メールまたは電子媒体が期日までに届かなかった場合は不受理とする。
- (b)原則としてHPの投稿用テンプレートを用い、その書式に従って投稿するものとする。

#### 1-5. 査読

投稿論文・報告は匿名査読に付される。査読の結果改稿が求められた場合、改稿の期限は別途編集事務局からの指示に従うこと。最終的な掲載の可否は編集委員会の審査を経て運営委員会にて承認される。期日を過ぎたものは投稿を辞退したものと判断される。

## 2. レイアウト

### 2-1. ページ設定

原稿の執筆には原則としてMicrosoft Wordを用い、以下の設定に合わせるものとする。

（Microsoft Wordが使用できない場合は汎用的なテキスト形式でも可とする）

（下記設定は査読の公平性を期し、執筆における統一を図るため、掲載時の製版用レイアウトとは異なる）

用紙：A4 横書き

文字数と行数：40文字×30行

フォント：英数字以外はMS明朝、英数字はCentury（10.5ポイント）（ない場合は類似のフォントで10～11ポイント）

余白：上下 30mm、左右 25mm

## 2-2. タイトル、氏名の記載

1 ページ目 1 行目にタイトルを、またサブタイトルがある場合は改行してサブタイトルを記す。

タイトル、サブタイトルは中央揃えにして、12 ポイント、太字にする。

次に英文タイトルを記す。

タイトルの次の行に氏名を記す。氏名は右寄せにして、本文と同じ 10.5 ポイントにする。

氏名の英語表記を記す。

氏名の下に二行を空け、本文を開始する。

## 2-3. ページ番号

ページの下に、「ページ数／総ページ数」の形式でページ番号を記す。

## 2-4. 章構成

章番号、節番号には半角数字を用いる。(例：1. 2. 1-1. 1-2. 1) 2) など)

丸数字 (①、②、③……) あるいはローマ数字 (I、II、III……) 等の環境依存文字は使用しない。

## 2-5. 引用

本文中での引用は、引用文の後に「…引用文…」(ランシエール 2005 : 24) のように記述する。

## 2-6. 脚注

脚注はすべて文末脚注とし、本文の後に 1 行空けて「注」と太字で記した上で、次の行から記載すること。

また、注は(1)、(2)、(3)……の形式で表記し、Microsoft Word 固有の脚注機能を用いないこと。

## 2-7. 参考文献

参考文献は、文末脚注の後に 1 行空けて「参考文献」と太字で記した上で、次の行から記載すること。

記載は和文献、外国文献の順とし、またそれぞれ執筆者のアイウエオ順、アルファベット順に並べる。

例)

マクルーハン, H.M. (1986) 『ゲーテンベルクの銀河系—活字人間の形成』森常治訳、みすず書房  
McLuhan, H.M. (1962) *The Gutenberg Galaxy: the Making of Typographic Man*, Routledge & Kegan Paul

## 2-8. 自著の引用等

匿名査読の妨げにならないよう、2-2 における執筆者表記の他は本文中に氏名、所属等、執筆者を同定できる情報を記載してはならない。また、自著を引用する場合にはその他の文献と同様に表記し、「拙著」等の表現は用いないこと。

## 2-9. 論文の最後に著者名、所属、専門分野を入れる。

例) [きたざと たろう／津田大学／哲学]

## 3. 本文表記

3-1. 文章は「である」調とし、分かりやすい表現にする。

3-2. 和文における句読点は「、」「。」を用いる。

3-3. 常用漢字、現代かなづかいとする。

3-4. 専門分野の異なる読者にも伝わるように、難解な専門用語は避け、また必要に応じて説明を加える。

3-5. 当該分野でのみ通じる略号は使用しない。

3-6. 年号は原則として西暦年に統一し、半角数字で表記する (数字の後に「年」を追加する必要

はない)。

ただし、特に必要がある場合は、それ以外の年号の併記も可とする。

- 3-7. 数値に関しては半角数字 (1、2、3.....) で表記する。ただし、「第一、第二、第三.....」、また「一つ、二つ、三つ.....」等については漢数字を用いること。

#### 4. 図表

図表には 1、2、3.....のように通し番号を振る。また本文中に記載した図表等は、オリジナルデータ (jpg, png 等) も提出する。原則として投稿時の電子媒体にて送付することとする。ただし、電子データの総容量が 5MB を超える場合は、電子メールではなく CD-ROM または USB メモリ等にデータをコピーした上で郵送すること。

#### 5. その他

- 5-1. 上記の執筆要項に従っていない原稿は受理できない場合がある。  
5-2. 提出された原稿は、その表記に関してのみ、編集事務局にて修正を加える場合がある。  
5-3. 掲載された原稿の著作権は、掲載された時点から本学会に帰属する。執筆者本人を除き、本学会の許可なくして複製することを禁ずる。

本規定は、2017 年 6 月 10 日より実施する。(2021 年 8 月 一部改定)

なお、投稿に当たっては、必ず本学会サイトにて、最新の情報を確認すること。

#### 投稿先／連絡先

総合人間学会編集委員会

編集事務局メールアドレス：

[editor@synthetic-anthropology.org](mailto:editor@synthetic-anthropology.org)

(編集幹事)

郵送ご希望の場合はお問い合わせください。